

[プレスリリース](#)

平成30年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産動向について

[Tweet](#)[印刷](#)令和元年8月30日
林野庁

林野庁は、平成30年の木質粒状燃料（木質ペレット）の生産動向を取りまとめました。
平成30年における木質ペレットの生産量は13.1万トン、前年比3.8%の増加となりました。

1.当調査の概要について

林野庁は、毎年、「特用林産物生産統計調査」により、特用林産物の生産量等について調査を行い、その生産動向等について公表しております。今回は、そのうち、「木質粒状燃料（木質ペレット）」の生産量等について公表するものです。

2.木質粒状燃料（木質ペレット）の生産動向について

平成30年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量は13.1万トン、前年から0.5万トンの増加となりました。工場数は、富山県、宮崎県など7道県で計9工場増加する一方で、新潟県、大阪府で計2工場減少したことから、前年比7工場増の154工場となりました。

用途別に見ると、燃料用としての生産がほとんどを占め、12.6万トン（構成比96.1%）となりました。

原料入手別に見ると製材工場等残材からの生産が6.7万トン（構成比50.7%）、丸太・林地残材からの生産が4.0万トン（構成比30.7%）、建設発生木材が2.2万トン（構成比16.6%）となりました。

丸太・林地残材から生産されたものの樹種別で見ると、スギが2.5万トン（構成比60.9%）、マツが1.1万トン（構成比28.4%）、ヒノキが0.3万トン（構成比8.4%）となりました。

詳細は、添付資料を御覧ください。

<添付資料>

[別添1 平成26年～30年の木質粒状燃料の生産量、工場数の推移](#)

[別添2 木質粒状燃料の用途別生産量内訳等](#)

[別添3 木質粒状燃料の原料入手区分別生産量及び含水率](#)

[別添4 丸太・林地残材から生産した樹種別生産量](#)

[参考資料](#)

お問合せ先

林政部木材利用課

担当者：木質バイオマス推進班 飯田、根本
代表：03-3502-8111（内線6121）
ダイヤルイン：03-6744-2297
FAX番号：03-3502-0305

平成26年～30年の木質粒状燃料の生産量、工場数の推移

都道府県	生産量(トン)						工場数					
	26年	27年	28年	29年 a	30年 b	増減(b-a)	26年	27年	28年	29年 c	30年 d	増減(d-c)
01北海道	6,082.8	7,344.0	6,619.2	6,323.6	6,304.9	△ 18.7	18	18	18	18	19	1
02青森	3,067.0	2,728.5	2,827.4	2,754.4	2,688.3	△ 66.1	4	4	4	4	4	0
03岩手	6,025.7	3,241.9	4,160.9	3,759.8	5,285.2	1,525.4	6	5	5	5	5	0
04宮城	2,777.3	2,569.5	2,480.0	2,343.9	2,404.3	60.4	5	6	6	6	6	0
05秋田	7,187.0	7,459.0	5,669.0	4,901.0	5,406.8	505.8	6	6	6	6	6	0
06山形	1,679.1	2,473.9	2,624.1	2,357.5	5,844.3	3,486.8	3	4	4	5	6	1
07福島	750.3	987.3	1,408.5	1,647.6	2,777.1	1,129.5	4	3	4	4	4	0
08茨城	83.5	533.3	364.8	411.8	654.6	242.8	4	4	4	4	4	0
09栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10群馬	862.0	1,380.8	1,830.6	1,485.8	1,677.0	191.2	3	4	4	3	3	0
11埼玉	1,302.7	1,066.1	864.7	890.9	694.2	△ 196.7	2	2	2	2	2	0
12千葉	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0	1	1	1	1	1	0
13東京	120.0	120.0	120.0	120.0	x	x	1	1	1	1	1	0
14神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0
15新潟	5,289.5	5,435.9	4,467.2	4,190.8	4,353.8	163.0	14	12	12	10	9	△ 1
16富山	732.0	883.0	728.5	704.8	937.0	232.2	2	2	1	1	3	2
17石川	518.6	548.0	634.9	881.1	684.4	△ 196.7	6	5	6	6	6	0
18福井	401.5	298.3	260.6	300.9	471.5	170.6	3	3	3	3	4	1
19山梨	758.1	1,099.5	1,192.0	1,432.4	1,335.7	△ 96.7	2	3	3	3	4	1
20長野	4,008.2	3,500.9	4,552.4	4,987.5	5,203.2	215.7	3	3	4	5	5	0
21岐阜	4,124.7	4,552.6	3,667.7	4,695.5	4,351.6	△ 343.9	7	7	7	8	8	0
22静岡	1,255.7	1,422.5	1,521.9	2,028.0	1,739.0	△ 289.0	2	2	2	2	2	0
23愛知	116.0	135.0	105.5	76.4	122.7	46.3	1	1	1	1	1	0
24三重	904.3	840.6	769.0	456.0	333.3	△ 122.7	3	3	3	3	3	0
25滋賀	21.8	22.0	25.0	36.4	52.5	16.1	1	1	2	2	2	0
26京都	1,380.6	1,955.8	1,396.6	1,622.4	x	x	2	2	3	2	2	0
27大阪	395.0	388.0	78.0	71.0	0.0	△ 71.0	1	1	1	1	0	△ 1
28兵庫	839.3	846.1	174.2	594.7	590.0	△ 4.7	3	3	5	4	4	0
29奈良	-	-	13.5	1,937.0	2,630.0	693.0	-	-	2	3	3	0
30和歌山	24.4	42.8	63.3	96.9	39.5	△ 57.4	2	2	2	2	2	0
31鳥取	537.3	383.3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
32島根	73.1	85.1	11.5	14.7	27.9	13.2	2	2	1	1	2	1
33岡山	19,343.6	20,544.2	23,870.4	28,803.0	27,651.0	△ 1,152.0	5	4	3	3	3	0
34広島	615.2	718.6	703.0	408.0	260.7	△ 147.3	3	3	3	4	4	0
35山口	964.2	950.0	830.0	929.6	x	x	2	2	2	2	2	0
36徳島	685.0	500.4	705.5	694.0	655.0	△ 39.0	2	2	3	3	3	0
37香川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38愛媛	2,856.0	2,779.7	2,629.0	3,096.7	1,403.2	△ 1,693.5	4	4	3	3	3	0
39高知	2,931.7	4,020.6	3,414.7	5,031.4	6,747.1	1,715.7	5	6	6	5	5	0
40福岡	70.3	89.3	92.0	103.2	79.8	△ 23.4	1	1	1	1	1	0
41佐賀	-	-	6.0	6.0	20.0	14.0	-	-	1	1	1	0
42長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43熊本	2,244.0	4,205.6	2,990.4	2,097.0	2,692.1	595.1	3	3	3	3	3	0
44大分	2,055.6	58.0	14.0	-	-	-	1	1	1	-	-	-
45宮崎	18,885.0	18,089.5	15,600.7	13,983.5	12,755.7	△ 1,227.8	3	4	4	4	6	2
46鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47沖縄	24,063.0	15,268.0	20,673.0	20,255.0	x	x	1	1	1	1	1	0
合計	126,035.1	119,569.5	120,161.7	126,532.2	131,400.5	4,868.3	142	142	148	147	154	7

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

(注2) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

【参考】木質ペレットの輸入量の推移

	輸入量(トン)					
	26年	27年	28年	29年 e	30年 f	増減(f-e)
輸入量計	96,745	232,425	346,855	506,353	1,059,542	553,189

(注) 財務省「貿易統計」を基に作成

別添2

木質粒状燃料の用途別生産量内訳等

木質粒状燃料

(単位：生産量＝トン、生産者数＝人、工場数＝工場)

都道府県	生産量	用途別生産量内訳				生産基盤	
		工業用	燃料用	農業用	その他	生産者数	工場数
01北海道	6,304.9	-	6,304.9	-	-	56	19
02青森	2,688.3	-	2,688.3	-	-	15	4
03岩手	5,285.2	-	3,744.2	1,541.0	-	6	5
04宮城	2,404.3	-	2,404.3	-	-	12	6
05秋田	5,406.8	-	5,406.8	-	-	10	6
06山形	5,844.3	-	5,844.3	-	-	10	6
07福島	2,777.1	-	2,767.1	-	10.0	19	4
08茨城	654.6	-	654.6	-	-	11	4
09栃木	-	-	-	-	-	-	-
10群馬	1,677.0	-	1,677.0	-	-	5	3
11埼玉	694.2	-	694.2	-	-	5	2
12千葉	2.0	-	2.0	-	-	1	1
13東京	x	-	x	-	-	4	1
14神奈川	-	-	-	-	-	-	1
15新潟	4,353.8	-	4,141.8	-	212.0	30	9
16富山	937.0	-	937.0	-	-	13	3
17石川	684.4	-	334.4	10.0	340.0	16	6
18福井	471.5	-	471.5	-	-	7	4
19山梨	1,335.7	-	1,335.7	-	-	7	4
20長野	5,203.2	-	5,132.1	71.1	-	12	5
21岐阜	4,351.6	-	4,101.6	-	250.0	20	8
22静岡	1,739.0	-	1,739.0	-	-	5	2
23愛知	122.7	-	122.7	-	-	1	1
24三重	333.3	-	333.3	-	-	5	3
25滋賀	52.5	-	52.5	-	-	5	2
26京都	x	-	x	-	-	6	2
27大阪	-	-	-	-	-	-	-
28兵庫	590.0	-	590.0	-	-	5	4
29奈良	2,630.0	-	2,630.0	-	-	4	3
30和歌山	39.5	-	39.5	-	-	3	2
31鳥取	-	-	-	-	-	-	-
32島根	27.9	-	27.9	-	-	3	2
33岡山	27,651.0	70.0	25,281.0	800.0	1,500.0	7	3
34広島	260.7	-	260.7	-	-	4	4
35山口	x	-	x	-	-	4	2
36徳島	655.0	-	655.0	-	-	6	3
37香川	-	-	-	-	-	-	-
38愛媛	1,403.2	-	1,403.2	-	-	11	3
39高知	6,747.1	-	6,747.1	-	-	10	5
40福岡	79.8	-	78.3	-	1.5	9	1
41佐賀	20.0	-	20.0	-	-	1	1
42長崎	-	-	-	-	-	-	-
43熊本	2,692.1	-	2,692.1	-	-	10	3
44大分	-	-	-	-	-	-	-
45宮崎	12,755.7	378.0	12,377.7	-	-	37	6
46鹿児島	-	-	-	-	-	-	-
47沖縄	x	-	x	-	-	1	1
合計	131,400.5	448.0	126,216.9	2,422.1	2,313.5	396	154

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

(注2) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

別添 3

木質粒状燃料の原料入手区分別生産量及び含水率

都道府県	計 トン	丸太・ 林地残材 トン	製材工場 等残材 トン	建設発生 木 材 トン	その他 トン	含水率 %
01北海道	6,304.9	5,228.0	1,036.9	40.0	-	9.0
02青森	2,688.3	1,184.6	939.2	564.5	-	13.0
03岩手	5,285.2	-	5,285.2	-	-	8.0
04宮城	2,404.3	240.0	1,924.3	240.0	-	8.6
05秋田	5,406.8	-	5,406.8	-	-	9.0
06山形	5,844.3	1,832.3	4,000.0	-	12.0	10.0
07福島	2,777.1	2,659.2	117.9	-	-	10.0
08茨城	654.6	502.8	146.8	5.0	-	10.0
09栃木	-	-	-	-	-	-
10群馬	1,677.0	1,352.0	297.0	26.5	1.5	10.0
11埼玉	694.2	-	537.0	-	157.2	13.4
12千葉	2.0	2.0	-	-	-	10.0
13東京	x	-	x	-	-	x
14神奈川	-	-	-	-	-	-
15新潟	4,353.8	3,868.9	484.9	-	-	8.6
16富山	937.0	745.0	192.0	-	-	10.0
17石川	684.4	190.0	494.4	-	-	11.0
18福井	471.5	50.0	421.5	-	-	10.0
19山梨	1,335.7	712.7	623.0	-	-	9.0
20長野	5,203.2	4,614.0	134.2	-	455.0	6.5
21岐阜	4,351.6	1,437.1	2,834.5	-	80.0	13.0
22静岡	1,739.0	1,478.3	260.7	-	-	8.0
23愛知	122.7	-	122.7	-	-	10.0
24三重	333.3	217.5	115.8	-	-	10.0
25滋賀	52.5	-	x	x	20.3	17.3
26京都	x	x	x	-	-	x
27大阪	-	-	-	-	-	-
28兵庫	590.0	389.5	200.5	-	-	10.0
29奈良	2,630.0	9.2	2,620.8	-	-	10.0
30和歌山	39.5	-	-	-	39.5	16.6
31鳥取	-	-	-	-	-	-
32島根	27.9	5.1	22.8	-	-	9.0
33岡山	27,651.0	2.9	27,648.1	-	-	6.0
34広島	260.7	4.7	106.0	-	150.0	8.0
35山口	x	x	x	-	-	x
36徳島	655.0	205.0	450.0	-	-	9.4
37香川	-	-	-	-	-	-
38愛媛	1,403.2	1,109.2	294.0	-	-	9.0
39高知	6,747.1	2,061.7	4,685.4	-	-	10.0
40福岡	79.8	12.0	67.8	-	-	11.5
41佐賀	20.0	-	20.0	-	-	10.0
42長崎	-	-	-	-	-	-
43熊本	2,692.1	-	1,996.6	695.5	-	8.5
44大分	-	-	-	-	-	-
45宮崎	12,755.7	8,638.2	2,390.5	-	1,727.0	9.2
46鹿児島	-	-	-	-	-	-
47沖縄	x	-	-	x	-	x
合計	131,400.5	40,326.2	66,601.2	21,830.6	2,642.5	-

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

(注2) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

別添 4

(木質粒状燃料) 丸太・林地残材から生産した樹種別生産量

都道府県	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	生産量 計 トン
01北海道	-	-	マツ	5,228.0	-	-	-	-	5,228.0
02青森	スギ	1,184.6	-	-	-	-	-	-	1,184.6
03岩手	-	-	-	-	-	-	-	-	-
04宮城	スギ	200.0	-	-	-	-	その他	40.0	240.0
05秋田	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06山形	スギ	968.8	マツ	842.8	-	-	広葉樹	20.7	1,832.3
07福島	スギ	2,647.2	マツ	12.0	-	-	-	-	2,659.2
08茨城	スギ	309.1	-	-	ヒノキ	145.3	その他	48.4	502.8
09栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10群馬	スギ	331.0	マツ	386.0	-	-	広葉樹	635.0	1,352.0
11埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12千葉	スギ	2.0	-	-	-	-	-	-	2.0
13東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15新潟	スギ	3,863.9	マツ	5.0	-	-	-	-	3,868.9
16富山	スギ	745.0	-	-	-	-	-	-	745.0
17石川	スギ	150.0	マツ	20.0	ヒノキ	20.0	-	-	190.0
18福井	スギ	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
19山梨	スギ	53.5	マツ	406.2	ヒノキ	187.3	その他	65.7	712.7
20長野	スギ	226.0	マツ	4,323.0	-	-	その他	65.0	4,614.0
21岐阜	スギ	1,005.5	マツ	214.9	ヒノキ	216.7	-	-	1,437.1
22静岡	スギ	654.3	-	-	ヒノキ	824.0	-	-	1,478.3
23愛知	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24三重	スギ	122.6	-	-	ヒノキ	75.3	その他	19.6	217.5
25滋賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26京都	x	x	-	-	-	-	-	-	x
27大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28兵庫	スギ	355.3	-	-	ヒノキ	22.8	広葉樹	11.4	389.5
29奈良	-	-	-	-	-	-	広葉樹	9.2	9.2
30和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32島根	スギ	5.1	-	-	-	-	-	-	5.1
33岡山	-	-	-	-	-	-	広葉樹	2.9	2.9
34広島	-	-	-	-	-	-	広葉樹	4.7	4.7
35山口	x	x	-	-	x	x	-	-	x
36徳島	スギ	194.8	-	-	ヒノキ	10.3	-	-	205.0
37香川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38愛媛	スギ	841.8	-	-	ヒノキ	267.4	-	-	1,109.2
39高知	スギ	1,473.1	-	-	ヒノキ	588.6	-	-	2,061.7
40福岡	x	x	-	-	x	x	-	-	12.0
41佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43熊本	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45宮崎	スギ	8,076.2	-	-	ヒノキ	562.0	-	-	8,638.2
46鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	24,565.3	-	11,437.9	-	3,400.5	-	922.6	40,326.2

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

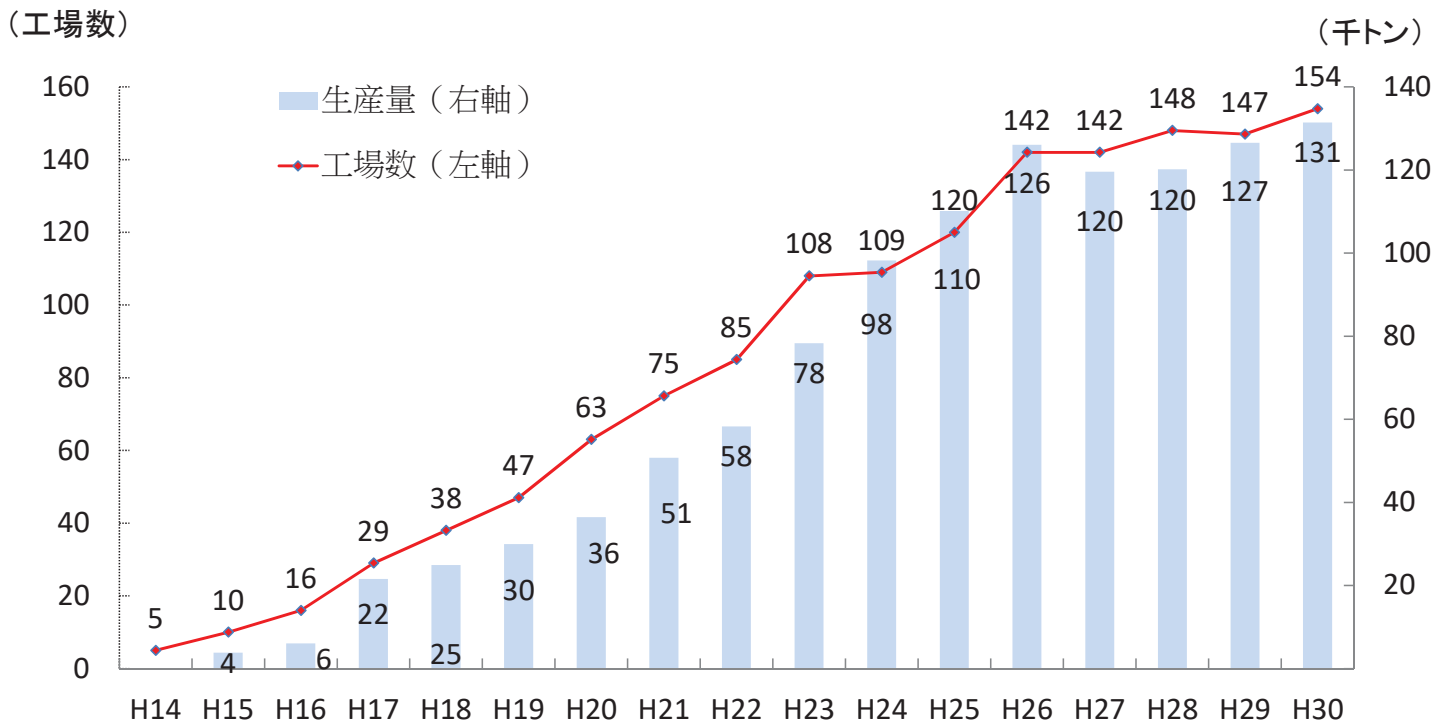
(注2) 「丸太・林地残材から生産した樹種別生産量」について、複数の樹種を1項目で回答している場合は、主たる樹種へ計上している。

(注3) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

【参考資料】

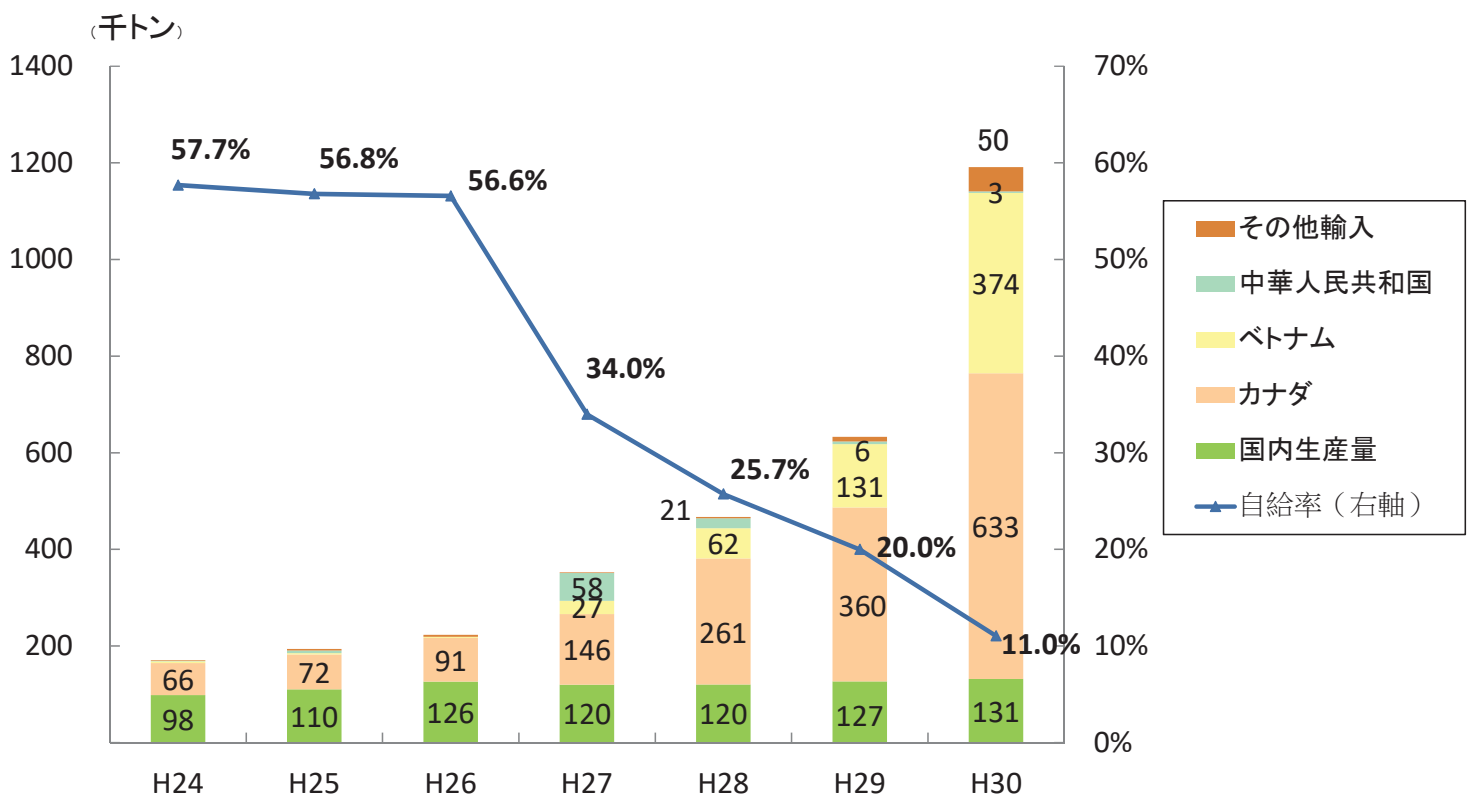
1. 木質粒状燃料(木質ペレット)生産量及び工場数の推移

- 平成30年における木質粒状燃料(木質ペレット)の生産量は、131,401トン(前年比103.8%、4,868トンの増)で微増。
- 平成30年における木質粒状燃料(木質ペレット)の工場数は、154(前年比7工場の増)。



2. 木質ペレットの輸入量・自給率の推移

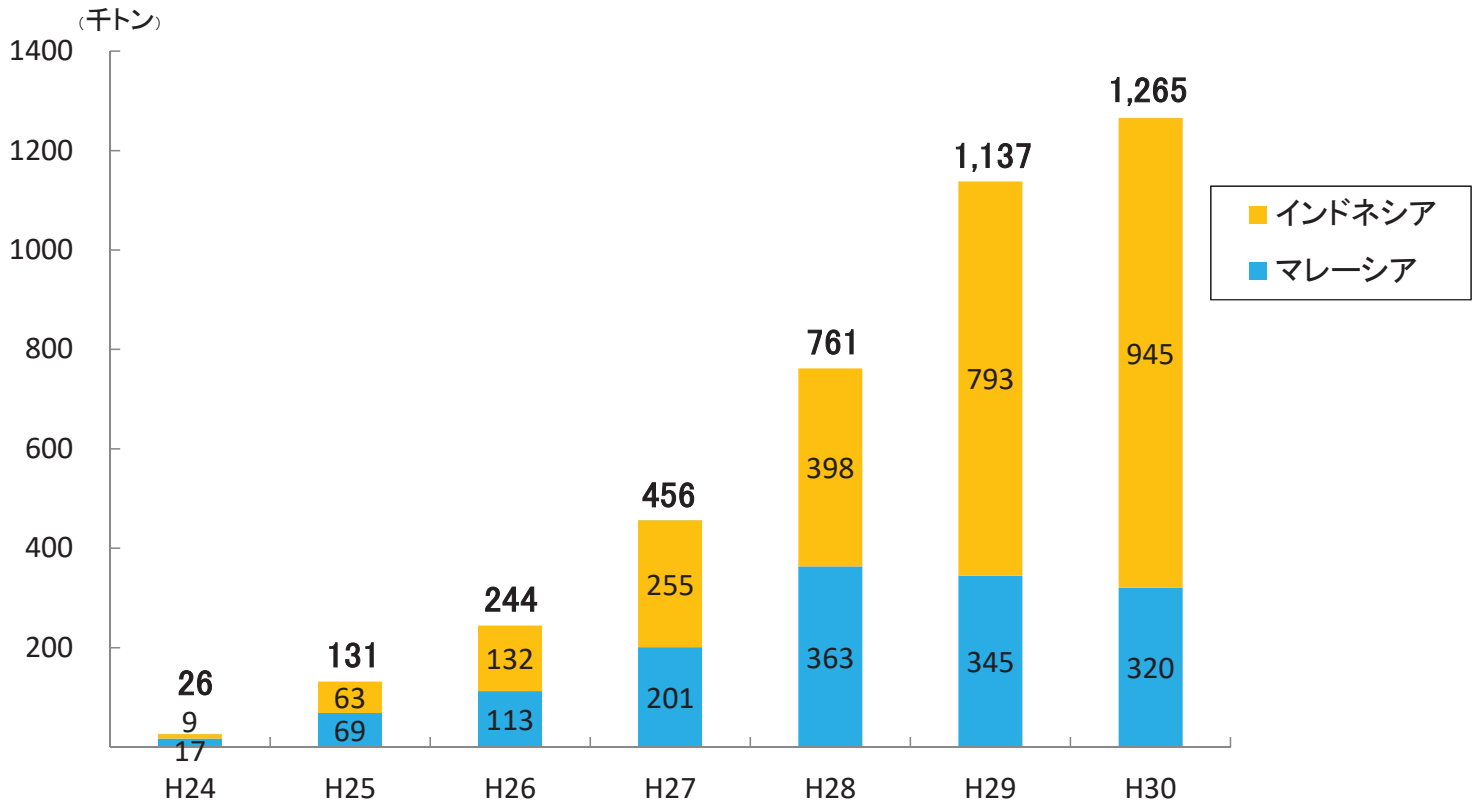
- 平成30年における木質ペレットの輸入量は、前年比109%増の106.0万トン。
- 木質ペレットの自給率は、前年比9.0ポイント減の11.0%へ下落。
- 主にカナダ、ベトナムからの輸入が増加。



※輸入量は「貿易統計」における木質ペレット(関税品目コード4401.31.000)の合計。

3. PKSの輸入量の推移

- 木質ペレットの代替燃料として競合関係にある燃料用のPKS(ヤシ殻)の輸入量は近年急増。
- 平成30年におけるPKS輸入量は、前年比11%増の126.5万トン。
- 主な輸入先国はインドネシアとマレーシア。



※「貿易統計」におけるパーム油かす及びパーム核油かす(関税品目コード2306.60.000)の合計。